

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 甲斐百合子

一般質問の通告について

令和4年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1.「ゼロカーボンシティ」実現に向けた取り組みについて</p>	<p>【趣旨説明】 近年の地球温暖化を起因とする気候変動やその甚大な影響により、2015年に合意されたパリ協定の世界規模の「脱炭素化」の流れを受け、国では、令和2年に2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルが表明され、昨年には、地球温暖化対策推進法改正法が成立し、本年4月から施行されました。現在、自治体レベルでの脱炭素化をめざす動きが加速化しています。 本町では、これまでに「武豊町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、ごみの減量、庁舎や公共施設の照明機器の節電やクールビズ・ウォームビズ、緑のカーテンチャレンジなど、町が率先した温室効果ガス削減の取り組みが行われてきました。 昨年2月「ゼロカーボンシティ」宣言を表明し、本年3月、住民・地域・事業者と行政が一体となって、温室効果ガスの排出削減に向けた対策と気候変動への適応を、総合的かつ計画的に推進する「武豊町温暖化対策実行計画（区域施策編）」が策定されました。 地球温暖化の問題は、2015年に採択された「持続可能な開発目標 SDGs」の目標13「気候変動に具体的な対策を」にも掲げており、世界規模でも重要課題であると共に、私たち町民ひとりひとりが生活の中で、心がけることができる取り組みです。「武豊町温暖化対策実行計画（区域施策編）」には、本町における地球温暖化対策として、町民が取り組むことも記載されています。町民と一体となってゼロカーボンを進めるためには、町民に対してよりわかりやすく、より取り組みやすくする事が重要であると考えます。そこで以下質問します。</p> <p>【質問事項】 ①武豊町温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づいた今後の取り組みは、どのようにお考えですか。 ②企業や事業所に対して、どのような働きかけを行いましたか。 ③実行計画（区域施策編）の進行管理、PDCAサイクルはどのように行っていけますか。 ④ごみの減量に対して、広報に令和3年度目標が達成されたとありますが、今後のさらなる減量に向け、どのような課題がありますか。 ⑤生ゴミ減量のため、黒土を入れたコンパネの箱に、生ゴミを入れ分解させる「キエーロ」を、本町でも取り組んではどうでしょうか。 ⑥町の施策や、町民ができる具体的な取り組みを、町民に広く周知し、理解と意識を向上する事が重要であると考えますが、どのような周知をお考えですか。 ⑦町民の意識向上のため、町民が楽しみながら行えるように、健康マイレージのような頑張ったポイントを付ける取り組みを行ってはどうか。 ⑧学校の施設整備と環境学習に対する補助制度であるエコスクールプラスを活用する本町のお考えはどうか。</p>